

## ノジコ（ホオジロ科） 全長14センチ

春の野山で、鮮やかな彩りの黄色い小鳥ノジコに遭遇した時、はっと息を止めて見入ってしまいます。神宮寺岳周辺はノジコの繁殖地となっているようで、観察される機会が多いようだ。今年も5月6日、神宮寺岳麓でノジコが見つかった。

この場所は過去に何回も観察されたポイントですが、周囲は山の斜面から伸びる緩やかな傾斜地となっている。近くを流れる雄物川を眺めながら耳を澄ますと、近くからノジコの鳴き声が聞こえてきた。



朝日を浴び、軽やかな歌声を響かせていた。

どこにいるのか周辺を見渡すと、近くの電線に止まり声高らかに囀っていた。

甲高く澄んだ鳴き声は、春の風景にピッタリで聞きほれてしまいます。紙面で鳴き声を紹介できないのが残念です。



目の周りが白く縁取られているのがポイント。



胸元からお腹にかけ黄色が目立ちます。

ノジコは夏季に本州北部で繁殖する夏鳥で、冬季には中国南東部、フィリピンへ南下し越冬します。日本のみで繁殖する日本固有種（繁殖固有）です。松山公園から神宮寺岳にかけての丘陵地一帯は、ノジコの局地的な繁殖地です。

ここは他の野鳥も数多く繁殖し、県の鳥獣保護区に指定されるなど、大仙市の自然が実感できる大切な区域となっています。



アオジと似ているが、お腹に縦縞がありません。



真下を流れる小沢に向った。